

海上保安官署施設整備事業 評価書

令和 4 年度

新規事業採択時評価

事業名（箇所名）	釧路航空基地の施設整備 （格納庫等の整備）	担当課 担当課長名	施設補給課 佐藤 博	事業 主体	国土交通省 海上保安庁
実施箇所	北海道釧路市				
事業諸元	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地 規模14,357㎡ ・格納庫 構造S-1、規模約2,020㎡ ・庁舎 構造RC-2、規模約631㎡ ・訓練施設 構造RC-3、規模約863㎡ 				
事業期間	令和 5 年度～令和 8 年度				
総事業費（億円）	約25億円				
政策（施策）目標	政策目標：安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 施策目標：船舶交通の安全と海上の治安を確保する				
計画概要	令和4年4月に北海道知床沖で発生した遊覧船事故を受け、北海道東部海域における救助・救急体制の強化を図るため、釧路航空基地に中型ヘリコプターを増強配備し、機動救難士等を配置することとしており、狭あい・老朽解消のため格納庫及び庁舎等を整備する。				
事業計画の必要性	評点	必要性の主な根拠			
	110点	中型ヘリコプターを増強配備や機動救難士等の配置に伴い、既存格納庫等が狭あいとなるもの。			
事業計画の合理性	評点	合理性の主な根拠			
	100点	他の案では、事業案と同等の性能を確保できない。			
	代替案との経済比較				
	C' - C	-	基準年度： 令和 年度		
		C' : 代替案の総費用(LCC)(億円)			
		C : 事業案の総費用(LCC)(億円)			
事業計画の効果	業務を行うための基本機能(B1)				
	評点	効果の主な根拠			
	110点	適切な構造、規模として計画されている。			
	施策に基づく付加的機能(B2)				
	評価		主な取り組み		
	社会性 (地域性)	C	一般的な取り組みが計画されている。		
	環境保全性 (環境保全性)	C			
環境保全性 (木材利用促進)	C				
機能性 (ユニバーサルデザイン)	C				
機能性 (防災性)	C				
その他	事業内容及び評価結果が適当であると判断。				
(備考)事業採択要件:「事業計画の必要性」、「事業計画の効果」に関する評点が100点以上、「事業計画の合理性」に関する評点が100点であること。 ・事業計画の必要性—既存施設の老朽・狭隘・政策要因等、施設の現況から事業計画を早期に行う必要性を評価する指標 ・事業計画の合理性—採択案と同等の性能を確保できる代替案の設定可能性の検討、代替案との経済比較等から新規事業として行うことの合理性を評価する指標 ・事業計画の効果 —通常業務に必要な機能を満たしていることを確認・評価する指標					

施設名：釧路航空基地の施設整備
(格納庫等の整備)

事業場所：北海道釧路市

位置図



釧路航空基地

庁舎 1 (S53建築)【撤去】



庁舎 2

既存格納庫 (S53建築)【撤去】

エプロン

格納庫

訓練棟、庁舎

建設予定地